



今後の経営環境を踏まえた

当社の課題と取り組み

**2020年9月11日
SGホールディングス株式会社**

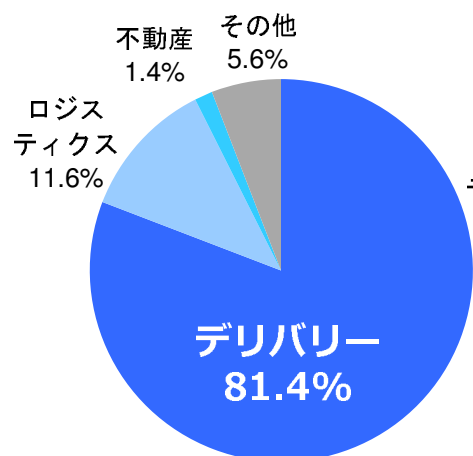
会社概要

- 所在地 : 京都市南区上鳥羽角田町68番地
- 創業⁽¹⁾ : 1957年3月
- 連結営業収益 : 11,734億円
- 連結営業利益 : 754億円 (対連結売上高比 6.4%)
- 連結当期純利益⁽²⁾ : 472億円 (対連結売上高比 4.0%)

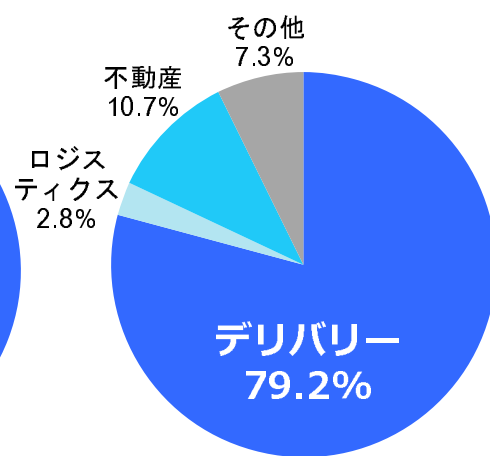
当社セグメント概要

セグメント	事業内容	各セグメントの主要会社
デリバリー事業	宅配便 メール便 TMS等	佐川急便 SGムービング ワールドサプライ
ロジスティクス事業	流通加工 倉庫業 利用運送等 通関 フォワーディング 国際宅配便等	佐川グローバルロジスティクス 上海虹迪物流科技股份有限公司 SGHグローバル・ジャパン EXPOLANKA HOLDINGS 海外法人
不動産事業	不動産開発 アセットマネジメント プロパティマネジメント等	SGリアルティ
その他	商品販売 自動車整備 システム販売等	佐川アドバンス SGモータース SGシステム

連結営業収益

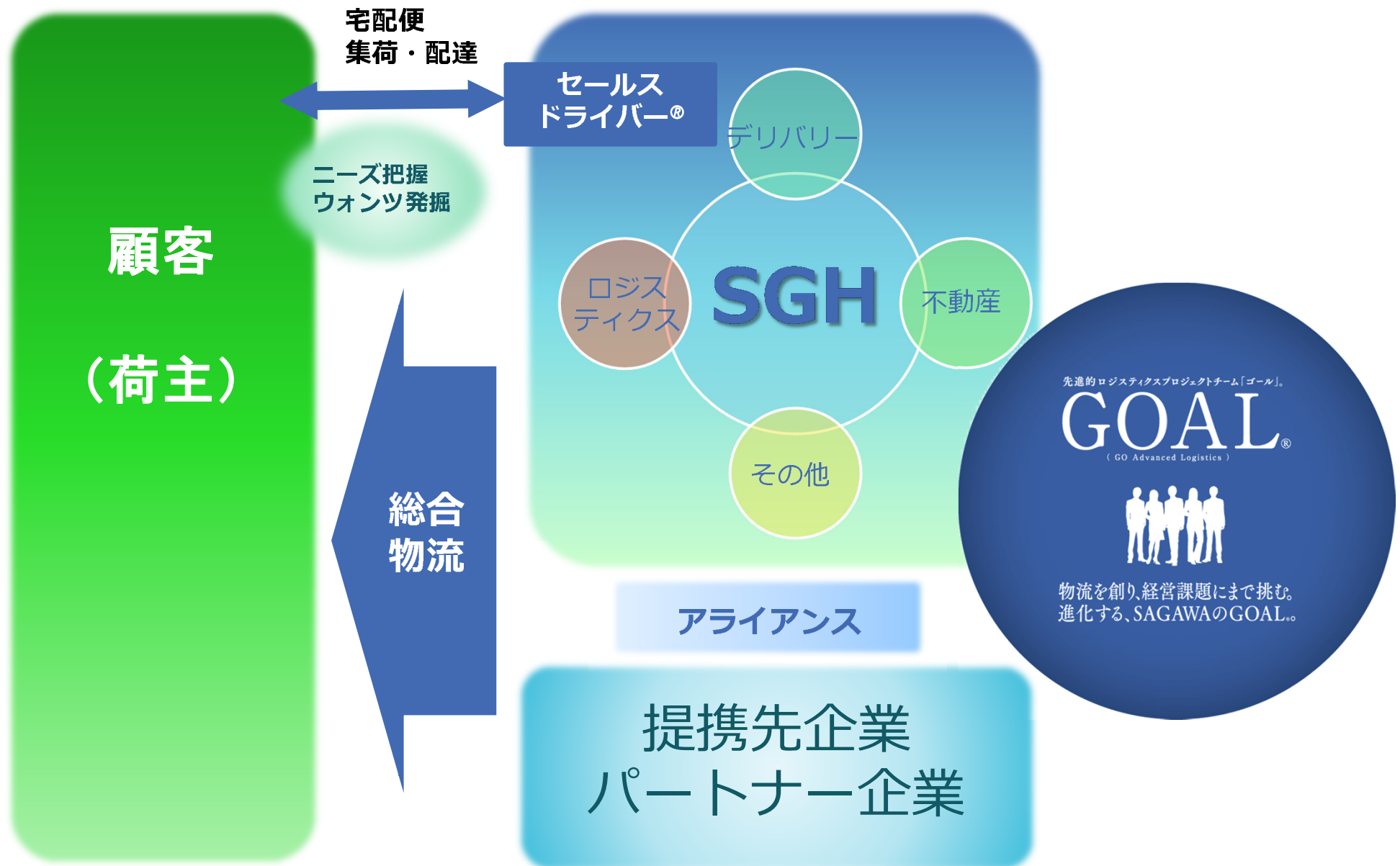


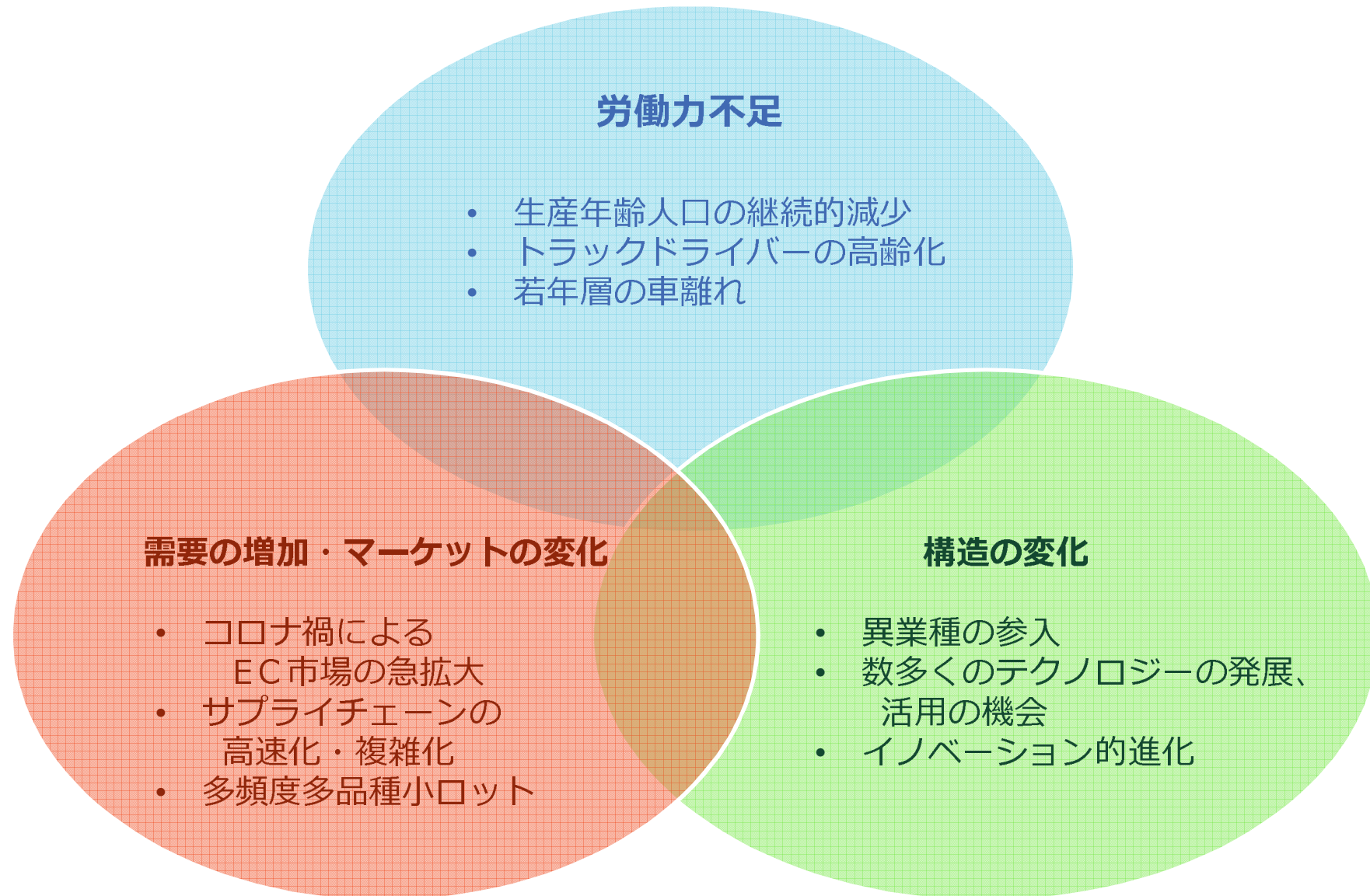
連結営業利益



注記 単位未満切り捨て、%は四捨五入。全データ2020年3月期 (1) 会社設立ではなく、事業を開始した時期 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益

SGHの目指すビジネスモデル





宅配サービスの進化

① デジタイゼーション
新しいテクノロジー活用

総合物流サービスの高度化

② 効率的なインフラ構築

③ アライアンスの推進

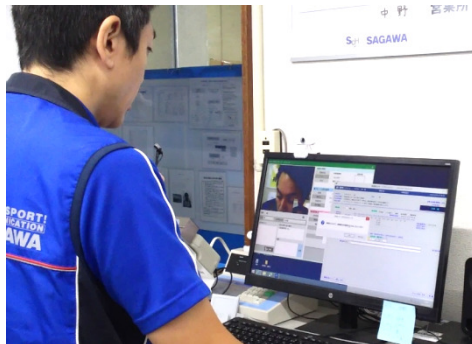
① 日常業務のデジタル化

IT点呼

Before : 対面で点呼



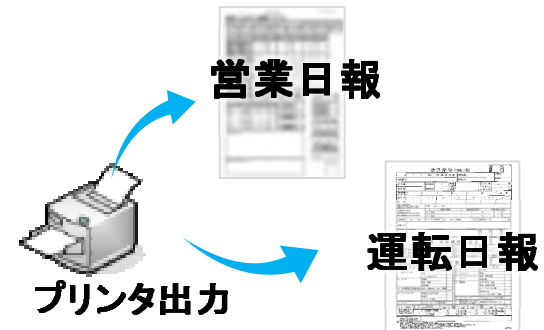
After : PC上で点呼



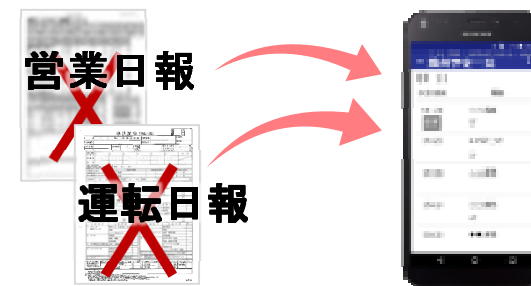
点呼担当者の移動をなくし、
所要人員・所要時間を削減

日報

Before : 手書きで記入



After : スマホで確認

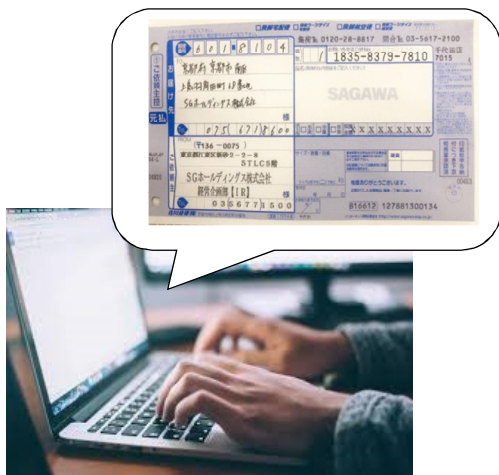


紙の日報を廃止し、
スマホへの入力/確認

① 伝票のデジタル化

過去

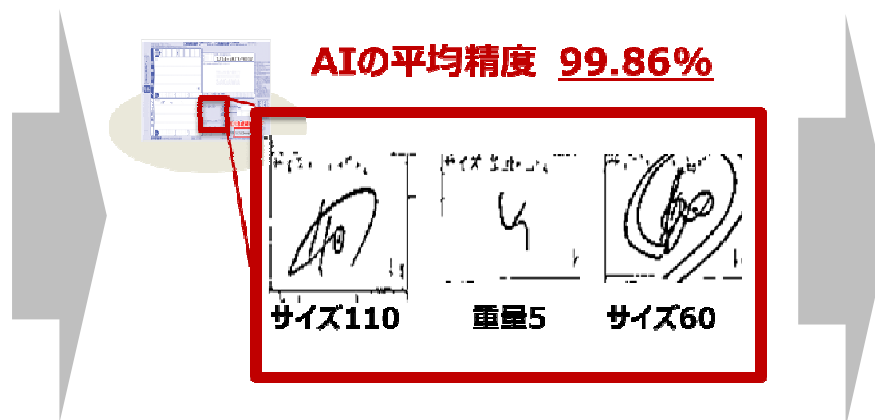
手書き伝票の
手入力



- ・ 入力誤り
- ・ 作業負荷

現状

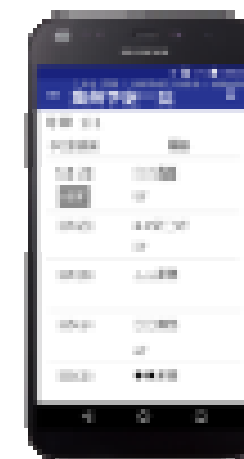
手書き伝票のAI-OCR
による自動読み取り



- ・ 入力誤り削減
- ・ 入力時間削減

将来

手書き伝票の
完全デジタル化



- ・ データ管理一元化
- ・ 処理速度加速

① 不在配送問題の解決

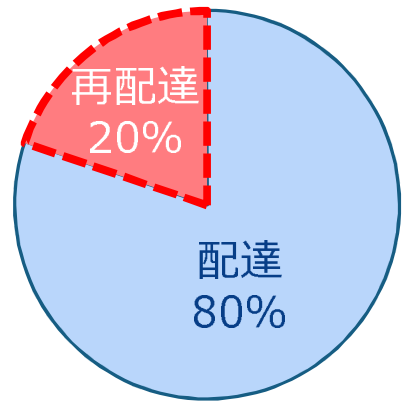
Aデジタライゼーション
新しいテクノロジー活用

6. 地域情報連携

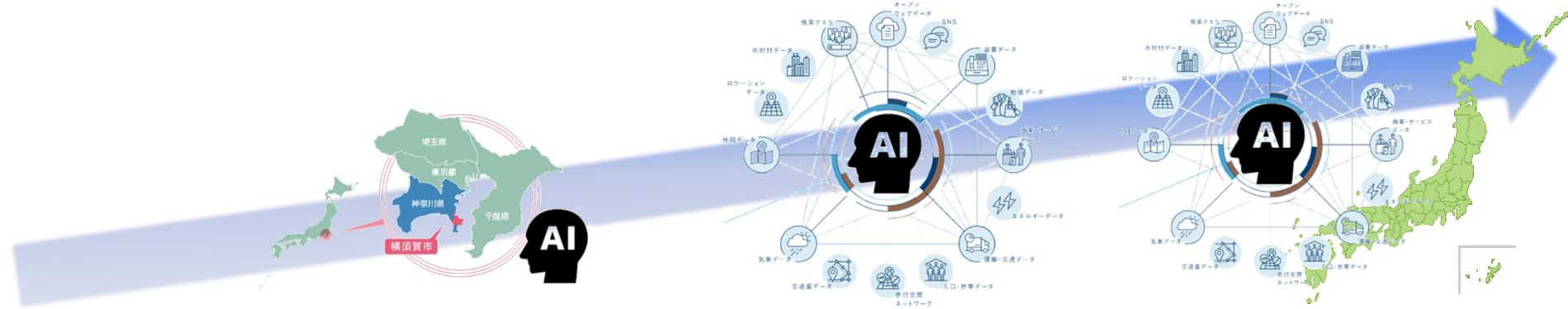
0. プライバシーの確保



- 参加組織**
- 佐川急便
 - 日本データサイエンス研究所
 - 東京大学大学院
 - グリッドデータバンクラボ有限責任事業組合
 - 横須賀市



現状 → 導入後



①SIP (自動荷降ろし技術)

参加組織

- 佐川急便
- 早稲田大学
- Kyoto Robotics
- フューチャーアーキテクト

SIP (戦略的イノベーション創造プログラム)

物流商流現場の情報を自動で取得・共有化する技術の開発



荷物データを自動収集できる自動荷降ろし技術



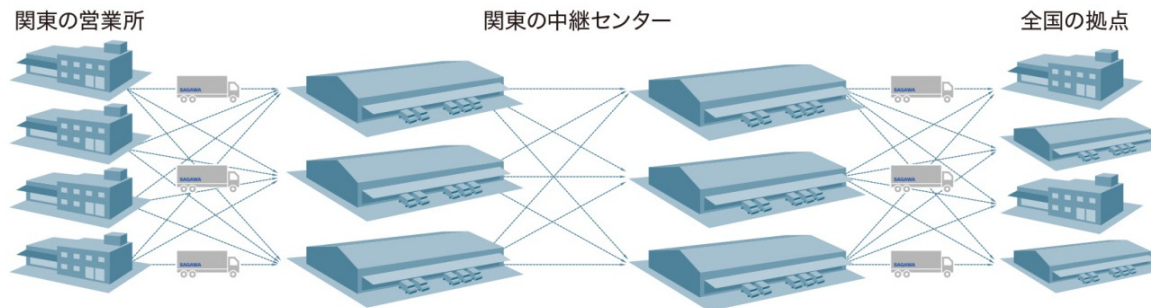
② Xフロンティア

データセンター
新しいテクノロジー活用
効率的なインフラ構築
クラウドサービスの推進



【効率的なインフラを構築しネットワークを集約】

BEFORE



AFTER

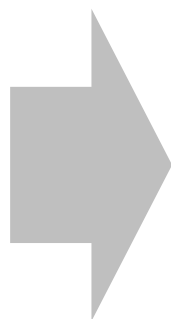


- 竣工：2020年1月
- 所在地：
東京都江東区新砂3丁目
- 敷地面積：
約74,000㎡
- 延床面積：
約176,000㎡

自動化／省人化

拠点集約

機能集約



路線：待ち時間削減／便数の削減

積載率の向上／リードタイム短縮

付加価値ソリューションの強化

©リソースの共有と有効活用

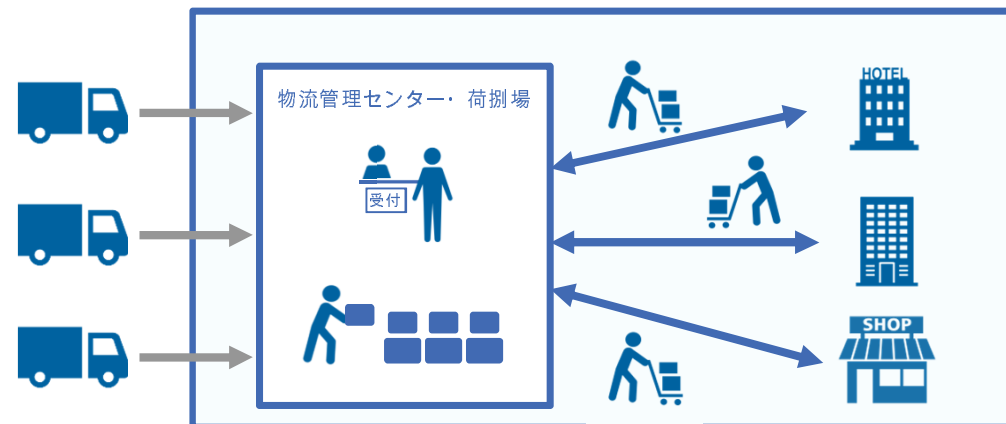
- デジタルライゼーション
新しいデジタルロジック活用
- 高度人材インフラ構築
- ⑥アライアンスの推進



【貨客混載】

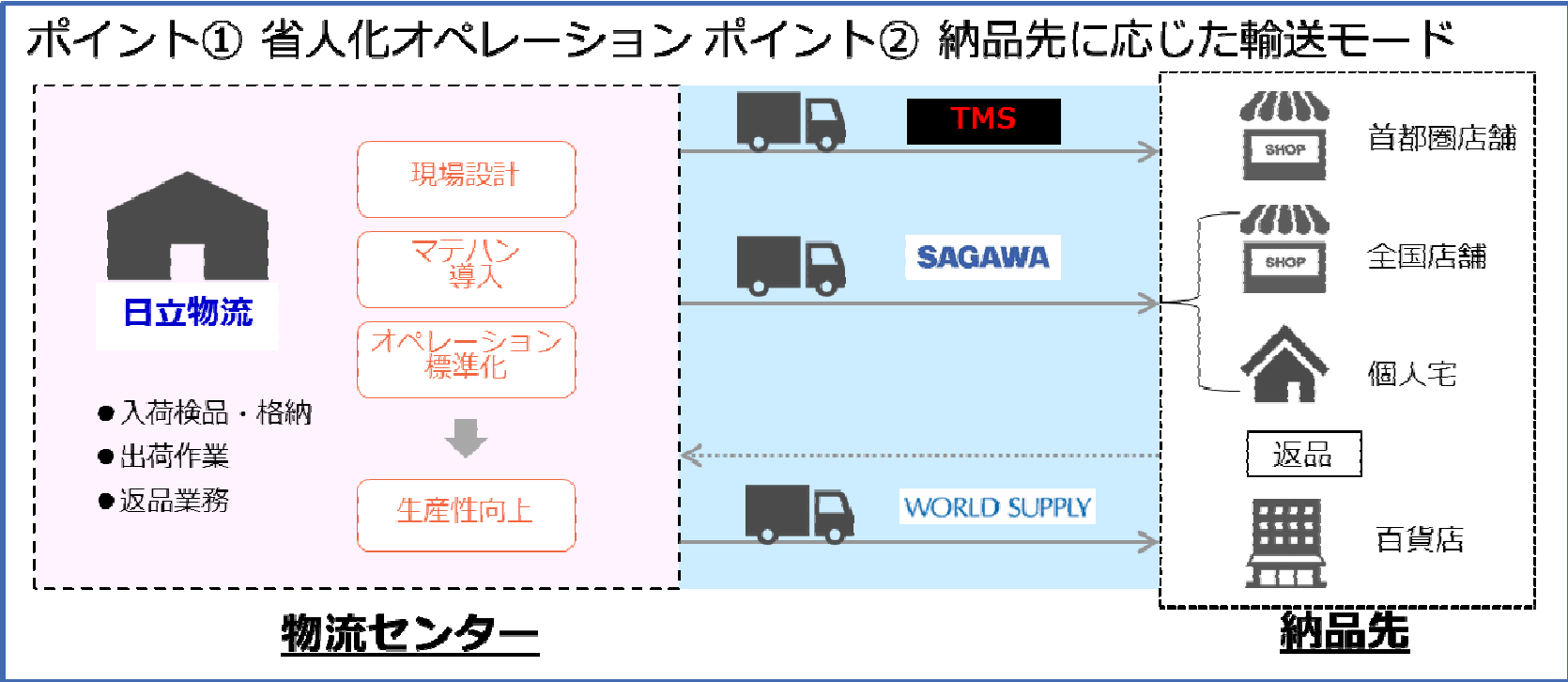


【館内物流】



©アライアンスの取組み

【事例】 日立物流との取組み3PL案件（アパレル） 受託



日立物流

3PL設計・運営力



SGホールディングスグループ

マルチチャネル輸送

⑥ アライアンスの取組み

【セイノーホールディングスとの業務連携】

【CBcloudとの業務提携】

【取組み】 社会課題（人手不足）への対応

【取組み】 軽車両マッチング

<目的>

- 社会的課題である人手不足の解消。
- 幹線輸送の共同運行や共同配送等、両社の得意分野やリソースを活かした連携を実施。
- より効率的かつ高度な物流にてお客様へ価値を提供。

<目的>

- TMSとCBcloudの軽貨物プラットフォームを連携。
- 緊急の配送や小口の配送などお客様のニーズに最適なオプションを提示。

